

名鉄グループエリア 魅力発見マガジン

MEITETSU

130th
Anniversary

Wind

Take
Free

11
2024

TAKAYAMA

飛騨春慶



守り、攻め、受け継がれる
地域の宝。

Precious Stories



木目を際立たせる唯一無二の漆器「飛騨春慶」。

木地と呼ばれる木製の器などに、漆を塗り重ねた漆器。

なかでも透明な透漆を施す漆器を、春慶塗という。

春慶塗の産地として、全国で唯一残っているのが飛騨高山地方の「飛騨春慶」だ。

職人の高齢化から、20年後には残っていないのでは、と心配されるなか、既存の枠に囚われない挑戦と、後継者育成に前向きな川原さんに話を伺った。

飛騨春慶

ひだしゅんけい



撮影協力: 福壽漆器店

美しい木目を生かすために 誕生した「飛騨春慶」。

城下町・商人町として栄えた趣を残し、「飛騨の小京都」と呼ばれ、国内外からの観光客でにぎわう高山市。数々の技術が今に伝わる高山を中心に製造されているのが「飛騨春慶」だ。

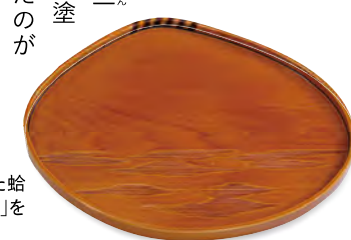
「木目の美しさを生かすために作られたのが『飛騨春慶』です。そう教えてくれたのは、「飛騨春慶」の塗師、川原俊彦さん。今からおよそ400年前、高橋喜左衛門という宮大工が、偶然打ち割った椀の木目に魅せられて蛤盆を作り、当時の高山城主の息子である金森宗和に献上。



観光地として人気となった高山。その土産物として「飛騨春慶」の需要も高まった。



大小さまざまな形の木べらをはじめ、「飛騨春慶」の塗りの工程で使われていた道具。(飛騨高山まちの博物館にて展示)



蛤の形を模して作られた蛤盆は、現在も「飛騨春慶」を象徴する製品のひとつ。

木地師と塗師が生み出す、 木目を魅せる伝統的工芸品。

「飛騨春慶」の特徴のひとつが、木地師と塗師それぞれの職人の技が合わさって完成するという点だ。木地師は木材を、挽物、板物、曲物といった工法で成形する。このとき、木目をどう生かして形作るかが腕の見せ所。そして、その木地に塗師が透漆を施す。他産地の漆器は、漆に黒や赤などの色を足すことが多いですが、『飛騨春慶』は透過性のある透漆を使います」と語る川原さん。できあがったばかりの製品は黒っぽい色だが、だんだんと色が薄くなっていき、経年で木目が際

立つてくるのだそう。また、蒔絵や沈金で文様などの装飾を施すことは少なく、木目を生かした素朴な風合いが大きな特徴であるという。

川原さんは、「透漆を塗る春慶塗の技法は全国に広まりましたが、現在でも産地として残っているのは『飛騨春慶』だけです」と胸を張る。国の伝統的工芸品に認定されている塗物や漆器は全国にたくさんあるが、春慶塗としての認定は「飛騨春慶」のみ。昭和50年(1975年)に伝統的工芸品第一次指定を受けている。



椀や檜(ひのき)などに透漆を塗り重ねることにより、木目の美しさが際立ち、独特の艶と風合いに。



板を立体的に仕上げる曲げの技法が優れた「飛騨春慶」。写真は、昔ながらの曲げわっぱの弁当箱。

昭和36年(1961年)、高山市生まれ。木地師の父の勧めで、高校卒業後に塗師の下で7年間修業。その後独立し、平成7年(1995年)に「飛騨春慶」塗り部門の伝統工芸士に認定される。2024年9月時点で「飛騨春慶」塗り部門の職人としては最年少。近年は弟子を迎えるなど、後継者育成にも力を入れている。

伝統工芸士

川原 俊彦

Kawahara Toshihiko





元々漆器が好きだったという三浦さん。京都美術工芸大学を卒業後、高山市の後継者育成制度を使い、川原さんに弟子入りした。



佐藤直子さんが「飛騨春慶ネイル倶楽部」を結成。今年4月には、クラウドファンディングを利用し、「飛騨春慶ネイルコレクション」と称したランウェイショーを開催した。



ネイリストの佐藤さんが、ヒノキのブロックを彫刻刀などでネイルチップに成形。その後、川原さんが漆を塗って完成させた「飛騨春慶」のネイル。



茶道具や器、箸など約200点をラインアップ。川原さんが手掛けた商品をはじめ、「飛騨春慶」や各産地の漆器も取り揃える。

飛騨春慶製造直売 戸沢漆器

高山市上一之町6 ☎0577-32-2966
8:30～17:30 無休
「高山濃飛バスセンター」下車 徒歩約15分



飛騨春慶連合協同組合に所属する塗師は現状8人。63歳という川原さんが最年少であり、職人の高齢化問題は深刻だ。「このままいくと、400年続いてきたものが自分で最後になってしまします。でも、誰かに受け継げば残していけるので、教えてほしいという人がいれば受け入れることにしています」と、後継者育成に前向きな川原さん。職人をひとりふたり育てるだけでは駄目。できる

限り多くの人に伝えていきたいけれど、生活していけない職人を増やしてもよくないと思っています。葛藤中ですね」と苦笑い。現在は、三浦健吾さんを弟子に迎えており、5年間の修行を経て、来年春には独立予定だそう。

かでも話題になったのが、「飛騨春慶ネイル」だ。高山出身のネイリスト・佐藤直子さんの依頼で、木製のネイルチップに漆を施した。ニューヨークのファッションウィークで披露され、国内外から注目を集めている。「『飛騨春慶』を未来につなげていくために、塗れる木地なら何でも塗りたいです。どこに可能性があるかわからないでしょ」と、今後も川原さんの挑戦は



左から「9寸丸盆(7,700円)」、「六角亀甲重(9,900円)」、「飛騨春慶」は丈夫で使いやすく、扱いも難しくありません。壊れても直せるので長年使えますよ」とのこと。写真は、川原さんが上塗りしたもの。

職人の高齢化が深刻な「飛騨春慶」。
未来に残すための、新たな挑戦とは。



それぞれの職人が自ら精製する上塗り漆。川原さんは3～4種類の漆を混ぜて作る。

ねいに塗ることがポイントです。また、埃がつかないように細心の注意を払います」と川原さん。刷毛の跡が残らないよう、力のかけ方を微妙に変えるのだとか。

大きく分けると、木地作りと塗りの2工程からなる「飛騨春慶」で、川原さんは塗りを施す職人だ。塗りの工程は、木地師が手掛けた木地の角をヤスリがけする木地磨きから始まる。次にトノコと呼ばれる目の細かい粘土などを水塗りして拭き取り、下地を塗る。この時、黄色または紅色で着色するのが「飛騨春慶」。下地の表面を紙ヤスリで磨き、ようやく漆を塗る工程に。摺り漆という、漆を塗って綿で拭き取る工程を何度か繰り返し、最後に上塗り漆で仕上げる。「木目を指標にしなが、ムラなく、てい



塗りに用いる道具は、木べらや刷毛など。自分が使いやすいよう調整したり、作ったりする。



③表面にゴミや埃がつかないように、またムラがないよう上塗り。



①下地には大豆の絞り汁や、牛乳に含まれるタンパク質のカゼインを使用。これを数回塗り重ねる。



④「一番気になるのは乾燥」という川原さん。最初のふろで3～4時間かけて乾かす。

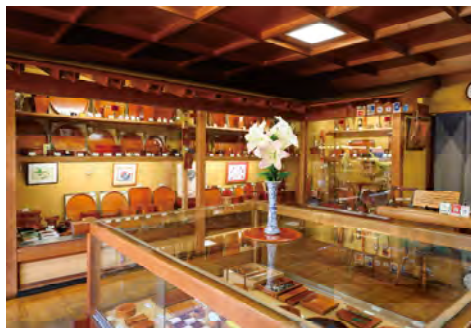


②生漆にえごま油を混ぜたものを木地に摺りこみ、拭き取る。

100年使える漆器になるよう、
何度も漆を塗り重ねて。



木が重なる継ぎ目が、ほかの部分と同じ厚さになるよう考慮して削るのが難しいのだとか。



江戸時代の安政年間に創業。「飛騨春慶」を300点ほど取り扱う。食器や茶道具をはじめ、箸や箸置き、アクセサリなど、気軽に購入できる商品もある。

ふく じゅ
福壽漆器店

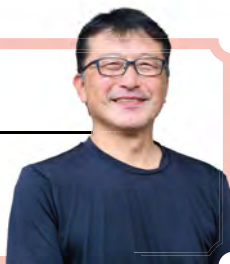
高山市桜町72 ☎0577-32-0290
8:30~17:00(日曜は9:00~15:00) 不定休
「高山濃飛バスセンター」下車 徒歩約20分

 PRESENT►P13

昭和37年(1962年)、高山市生まれ。木地師の祖父が西田木工所を創業し、現在3代目。昭和56年(1981年)から木地師の仕事を始め、平成11年(1999年)に、「飛騨春慶」木地部門の伝統工芸士に認定される。主にコロ曲げや引き曲げの技術を用いて、曲物と呼ばれる木地を製作。盆や重箱、弁当箱、カップなどの食器類を手掛けることが多い。

「木地工房 西為」代表
伝統工芸士

西田 恵一
Nishida Keiichi



右衛門横丁

朝市でにぎわう通りに、
高山の土産が揃う
店が並ぶ。



宮川朝市近くにあり、飛騨牛まんや五平餅など、地元の味を楽しめる店が軒を連ねる。横丁内にある「こくわ春慶」には「飛騨春慶」をはじめ、さまざまな産地の漆器が並び、実際に手に取って見ることができる。

高山市下三之町19 ☎0577-57-8081
8:00~14:30 無休
「高山濃飛バスセンター」下車 徒歩約13分

Innovation

「飛騨春慶」ならではの、
木目の魅力を引き出す職人技。

まげもの
きじし
曲物を作る木地師・西田さんが大切にする、
古き良き「飛騨春慶」の技術継承。



美しさを左右する、木地師の仕事。

「飛騨春慶」の木地となる
木目の美しさを最大限に引
き出すのが、木地師の仕事
だ。「この木目を生かすには
どうカットするのが一番い
いのか、どの木とどの木を合わ
せれば模様が綺麗に見える
のかなど、考えながら作業を
しています」と話すのは、木地
師の西田恵一さん。



継ぎ目を「ツカミ」という道具で押さえて形を整える。

ろくろで成形する挽物、板を貼り合わせる板物、一枚の板を曲げて成形する曲物に分類される「飛騨春慶」の木地。西田さんは難易度の高い曲物を中心に手掛ける職人だ。四角い器も、四隅は曲げ加工が施されている。

曲物の木地作りは、樹齢200年以上の檜や榎、檜葉（アスナロ）などを切り出すところから始まる。板状に挽いた木材を乾燥させ、悪い部分を取り除き、さらに薄く削って再び乾燥。仕上げ鉋で表面を削り、湯に浸して木材をやわらかくしてから曲げていく。継ぎ目に膠を塗って接着したら、その部分に特殊な道具で穴を開け、桜の皮を薄く削った帯状の桜カンバで縫い合わせる。その後、水につけておくと閉じ穴が締まって外れなくなるのだ。最後に天板や底板を、自ら作った木の釘で打ち止めると木地が完成する。



桜カンパで縫い合わせて、継ぎ目を固定させる。

高山の魅力が身近に感じられる博物館。「飛騨春慶」のほか、高山祭の屋台や町家の模型、高山城城主・金森氏に関する貴重な資料などを展示。土蔵を利用した建物で、城下町の形成や町家文化など、歴史探訪を楽しめる。



高山市上一之町75 ☎0577-32-1205
展示室9:00～19:00、研修室9:00～21:00、庭園7:00～21:00
無休(臨時休館あり) 入館無料
「高山濃飛バスセンター」下車 徒歩約14分



飛騨高山まちの博物館

古い町並みをふらり散策。
名物や日本酒飲み比べも！

01

時間が経つても、
作り立てのようないしさを。



左から時計回りに、「あんこの塩パン(190円)」、「すくなかぼちゃのちぎりパン(300円)」、「クリームパン(200円)」。



パン激戦区の高山市内でも長年人気のパン屋。



開店10周年を迎える、人気のパン屋。朝から夕方まで次々とパンを焼き上げ、全60種類ほどが並びます。焼きたてはもちろん、次の日でもおいしく食べられるよう、生地を仕上げているそう。人気ナンバー1の「クリームパン」をはじめ、飛騨産のすくなかぼちゃを使った優しい甘さが特徴の「すくなかぼちゃのちぎりパン」や、甘じょっぱい「あんこの塩パン」がヒット商品です。



ブルーランジェリーパヌーヴ

高山市岡本町2-140-4 ☎0577-77-9450 10:00~18:00 日曜、不定休

04

肉肉しい旨味を堪能！
飛騨牛ハンバーガー。

飛騨牛も扱う「松喜すし」がプロデュースする、本格手作りバーガー店。看板メニューの「まつきBurger.」は、A5ランクの飛騨牛100%の粗挽き肉ハンバーグと、地元産のフリルレタスやトマト、玉ネギを全粒粉のパンズでサンド。ソースを使っていないため、肉の旨みをダイレクトに味わえます。また、リピーターの多い人気商品「まつきぷりん」は、牛乳、卵黄、生クリーム、砂糖を蒸したシンプルなデザートです。



まつきBurger.

高山市花里町6-124 ☎0577-57-7539

10:00~18:30 水曜、不定休



飛騨牛乳を使用した、濃厚な味わいの「まつきぷりん(450円)」。



左から「だし巻きBurger.(550円)」、「まつきBurger.(1,580円)」。

02

200年の歴史を刻む、
趣ある日本酒の蔵元。



まずは、専用コインを購入し、ガチャガチャでオリジナルおちょこを手に入れて飲み比べ。

酒蔵レストランも併設し、蔵元の酒を味わえ、購入できる日本酒のテーマパークです。酒造りはもちろん、昨年からウイスキーの醸造も始めています。また、店内には、日本酒コインサーバーがあり、常時10種類と季節の酒数種類が試飲可能です。日本酒を使ったカステラやせんべいなどオリジナル商品のほか、土産菓子や飛騨高山の特産品、民芸品、和雑貨、酒コスメなども揃います。

左から「ゆず兵衛500ml(1,480円)」、「深山菊秘蔵 特別純米720ml(1,598円)」。



松坂酒造店

高山市上三之町105

☎0577-32-0016 8:30~18:00 不定休

PRESENT▶P13



05

ちぢれ麺に醤油スープ。
昔ながらの中華そば。



まつぱりながら、旨味たっぷり！



昭和31年(1956年)創業、高山ラーメンの名店。当時の作り方をそのままに、昔懐かしい中華そばが味わえます。スープは野菜と豚骨を煮込み、煮干しなどの魚介出汁をプラス。醤油ベースの透き通ったスープが、極細のちぢれ麺に絡みます。挽き肉だけを包んだなめらかな舌触りのワンタン麺も、創業当時の人気メニューです。



定番の「中華そば(800円)」と、皮を楽しんでほしいという「ワンタン麺 並(1,100円)」。

つづみそば

高山市朝日町52 ☎0577-32-0299

11:30~14:00、17:00~20:00(材料がなくなり次第終了)

※日曜は11:00~14:00 火曜、第4曜休



イベント情報

～11月30日(土)

秋の中橋ライトアップ

■場所／中橋周辺

11月1日(金)～12月1日(日)

飛騨の伝統的工芸品展

■場所／飛騨高山まちの博物館

11月3日(日・祝) ※当日のみ入場料無料

岐阜ふるさとを学ぶ日

■場所／高山陣屋

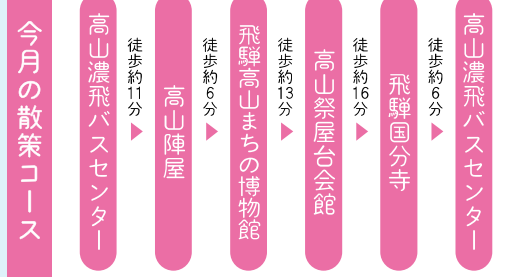
アクセス

■名鉄バスセンターから高速バス[名古屋⇄高山]

「高山濃飛バスセンター」下車

●所要時間約2時間50分、

片道運賃3,400円、往復運賃6,000円

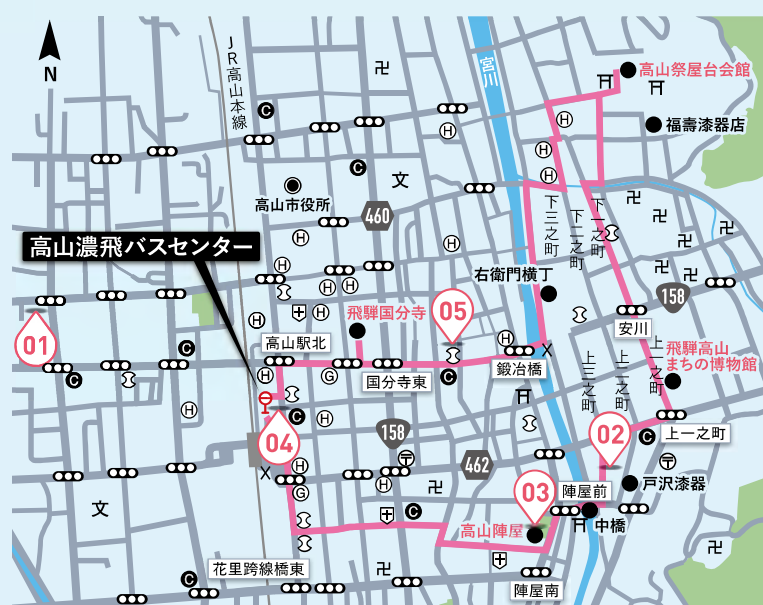


高山市

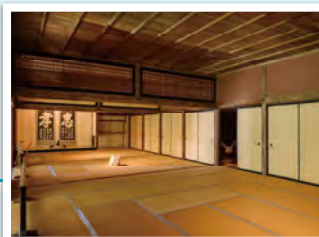
たかやまし

人口:82,742人(2024年9月現在)

高山市は日本一広い市として知られ、豊かな自然と歴史が調和する美しいまちです。飛騨の匠の伝統工芸や古い町並みが魅力で、春と秋の高山祭は必見。また、周辺には雄大な北アルプスや温泉地が広がり、四季折々の景色を楽しむことができます。



◎コンビニエンスストア ◎ガソリンスタンド



広場では毎日朝市が開催されています！



玄関などは江戸時代から残る貴重な建造物。

高山陣屋

高山市八軒町1-5 ☎0577-32-0643

8:45~16:00(最終入場) 入場料:440円(高校生以下無料)



03

全国で唯一現存する
江戸時代の御役所。

江戸時代に、郡代・代官が政治を行っていた建物・陣屋。全国に60数カ所あった陣屋の中で、唯一現存するのがこの「高山陣屋」です。元禄5年(1692年)から明治維新に至るまでの176年間に、幕府直轄の行政・裁判・警察などの政務を担っていました。敷地内には、役人の執務空間である役所と、郡代・代官とその家族が住んでいた役宅、年貢米を収めた御蔵があり、貴重な資料とともに展示・解説されています。



～まちじゅうがイベント!～ あったか! あつた魅力発見市2024

■期間／11月17日(日)

見て・学んで・食べて、熱田の魅力を再発見できるイベントが、熱田区内9ヵ所で開催されます。9月にオープンした商業施設「あつたnagAya」では、限定ノベルティの配布や、VRゴーグルで江戸時代の熱田を歩き回る体験を楽しめます。また、当日は各会場をつなぐ無料巡回バスや、歴史ガイドつきの堀川船旅(1回500円)も、この日限りの特別運行。秋の爽やかな風を感じながら、ぜひ熱田のまちを満喫しよう!



詳しくはこちら!

歴史が語りかけてくる町へ。 有松・熱田のまちめぐり

■設定期間／～12月15日(日)

有松と熱田、2つの歴史あるエリアを散策するキャンペーンを好評開催中です。キャンペーンに合わせ、有松駅または神宮前駅までの名鉄電車往復乗車券などがセットになったきっぷを発売。対象店舗や施設でのクーポン特典がつく「有松・熱田おさんぽきっぷ」、有松・鳴海絞りを体験できる「有松しぼり体験きっぷ」、有松絞りの工房・実演見学や体験、または、贈答品がつく「有松工房満喫きっぷ(予約制)」をご用意しました。ここでしかできない体験をして、おトクに有松・熱田の魅力を堪能してみませんか。



詳しくはこちら!

おでかけNEWS

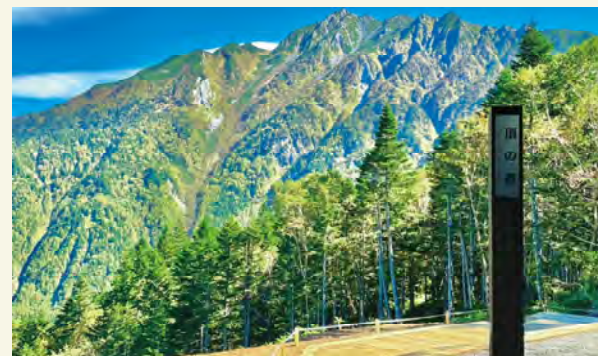
新穂高ロープウェイ「頂の森」が グランドオープン

山頂・西穂高口駅に隣接する「頂の森」が、リニューアルを終え10月に開業しました。壮大な西穂高岳を間近に感じられる展望スペース「西穂の踊り場」には、岩稜帯(がんりょうたい)を踏破した気分を味わえる撮影スポットが。「オオシラビソの道」では、原生林の中を歩きながら高山植物を観察したり、森林浴を楽しめます。また、「 Gondラステージ」では、白山方面の山々の景色をゆっくり座って楽しむことができます。新穂高は間もなく冬を迎えますが、雪が降ると、冬期限定のマスコットキャラクター「にしほくん」も展望台に登場します。雪をかぶった北アルプスの雄大な眺めはもちろん、パウダースノーに覆われた白銀の世界をぜひご体感ください。



詳しくはこちら!

PRESENT▶P13



西穂の踊り場



にしほくん

11月の名鉄のハイキング

スタート受付時間／8:30～11:00 ※指定時刻までにスタート受付駅にお越しください。

11/2(土) スタート受付時間／8:30～12:00
名古屋の面白いがあふれる
大曽根の街めぐり
～鉄軌道4事業者が連携～コース
■受付／大曽根駅(西側)



青柳樹木家 守山直営店

11/4(月・休)
一日で愛知県と岐阜県、三重県の
東海三県を歩きで制覇する! コース
■受付／佐屋駅



木曽三川公園センター

11/9(土)・10(日)
秋深まる名古屋の「まち」を
散策コース
■受付／栄駅



名古屋城(提供 名古屋城総合事務所)

11/16(土)・17(日)
笠寺観音「六の市」と
南区民まつりを訪れるコース
■受付／本笠寺駅



南区民まつり

11/23(土・祝)・24(日)
陸上自衛隊豊川駐屯地創立記念行事と
豊川海軍工廠平和公園コース
(コース内容に変更あり)
■受付／八幡駅



陸上自衛隊豊川駐屯地

11/30(土)・12/1(日)
新規開館!
豊田市博物館を訪れるコース
■受付／土橋駅



豊田市博物館

「名鉄CentX」のアプリ、またはスタート受付で
配付する紙のコース地図を手にお楽しみください。



詳しくはこちら!

CentX



アプリの
ダウンロードは
こちら!

meitetsu
名鉄百貨店

名鉄百貨店
11月の催事情報

本店
[本館]
7階催場

～4日(月・休)	開店70周年記念 東海・北陸の工芸展
～12月22日(日)	お歳暮ギフトセンター
6日(水)～11日(月)	婦人服・服飾雑貨・リビング 冬の理由ありお買得市
13日(水)～19日(火)	開店70周年記念 長野大物産展
21日(木)～26日(火)	第20回記念 チャリティー美術品大感謝市
27日(水)～12月2日(月)	開店70周年記念 ～人気作家が描くタツノコアートの世界～ タツノコアートフェス

※都合により、変更・中止となる場合がございます。

飛騨を満喫! ひだふゆたび(ひだはるたび)キャンペーン

■設定期間／ひだふゆたび 12月1日(日)～2025年2月28日(金) ※発売は11月1日(金)～
ひだはるたび 2025年3月1日(土)～3月31日(月) ※発売は11月1日(金)～

飛騨観光キャンペーン「ひだふゆたび」が、12月1日から始まります。古いまち並みで名物グルメが楽しめる飛騨高山。着物姿でおしゃれなカフェを散策できる飛騨古川。世界遺産の幻想的な景色が広がる白川郷。あったか温泉や北アルプスの絶景が楽しめる奥飛騨温泉郷、新穂高ロープウェイ。魅力がいっぱいの飛騨旅行が存分に楽しめます。最大約1,000円おトクなコースは、「天空パノラマコース」「世界遺産コース」「映えグルメ満喫コース」の3種類から選べ、それぞれに購入者特典もついています。雪道でも安心な高速バスでアクティブに飛騨を満喫しましょう。



詳しくはこちら!



飛騨古川のスイーツカフェ



凍るタオル体験(新穂高ロープウェイ展望台)



※上記は10月24日現在のものです。最新の情報は公式サイトなどをご確認の上、おでかけください。

京都・宇治のまちで「源氏物語」の世界を体感しよう

「源氏物語」の最後の10帖「宇治十帖」のおもな舞台となった宇治のまちには、物語にゆかりのあるスポットや紅葉の名所がたくさんあります。この秋は、色鮮やかに染まる京都観光へ、京阪電車でおでかけください。



平等院

「源氏物語」の主人公・光源氏は、平安時代初期の政治家・源融(みなもとのとおる)がモデルといわれています。平等院はその源融の別邸「宇治院」が藤原道長に受け継がれ、その子・頼通が寺院へと改めました。鳳凰堂には本尊・阿弥陀如来がまつられており、内部を拝観することができます。拝観料大人700円(鳳凰堂内部拝観は300円が別途必要)。

京都府宇治市宇治蓮華116 ☎0774-21-2861
8:30~17:15(最終受付)
※鳳凰堂内部拝観は9:30~16:10
受付は9:00~ 各回20分ごと50名まで無休
京阪電車宇治線 宇治駅下車 徒歩約10分

紫式部のあしあと／恋する源氏物語

京阪電車では紫式部の詳細や源氏物語の登場人物などを、パンフレットやWEBサイトでご紹介しています。京阪沿線にある紫式部や源氏物語ゆかりの地、または、ゆかりの地めぐりにぴったりのおトクなチケット情報もご案内しています。

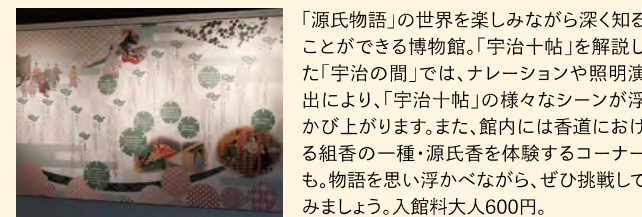
詳しくはこちら!

京阪電車で宇治の「源氏物語」ゆかりの地をめぐるなら...

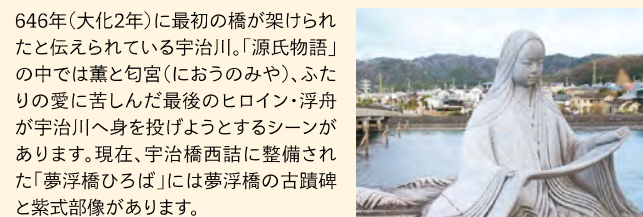
京阪電車 源氏物語 宇治周遊チケット



- セット内容/ 京阪電車 石清水八幡宮駅~出町柳駅・宇治線・石清水八幡宮参道ケーブル(1日フリー)、「光る君へ 宇治 大河ドラマ展」入場券
- 発売額/ 1,200円(大人のみ)
- 発売期間/ ~2025年1月13日(月・祝)
- 発売駅/ 石清水八幡宮、中書島、丹波橋、祇園四条、三条、出町柳、宇治
- 詳しくはこちら!



京都府宇治市宇治東内45-26 ☎0774-39-9300
9:00~16:30(最終入館) 月曜休館(祝日の場合は翌日休館)
京阪電車宇治線 宇治駅下車 徒歩約10分



京阪電車宇治線 宇治駅下車すぐ

■お問合せ/京阪電車お客さまセンター ☎06-6945-4560(9:00~19:00、土休日は17:00まで) 無休(12/30~1/3は除く)

Wind Information

今月のプレゼント

1

P6
掲載



福壽漆器店より
飛騨春慶の「菓子器」を1名様に

2

P7
掲載



船坂酒店店より
「ゆず兵衛(500ml)」を3名様に
※ご応募は満20歳以上の方に限ります。

3

P9
掲載



新穂高ロープウェイの
「往復乗車券」をペア3組に
※有効期限は2025年3月31日までです。

応募方法

名鉄ホームページまたは右記QRコードよりご応募ください。
プレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。
▶締切: 11月20日(水)

プレゼントへ
のご応募はこちら



S | N | S | で | 発 | 信 | 中 | !

Windの誌面で紹介したお店や施設などの情報を「名鉄おでかけ情報」
Facebookでも配信します。ぜひフォロー、登録の上、お楽しみください!

Facebook

名鉄
おでかけ情報



12月号のPrecious Storiesは「碧南のにんじん／碧南中央駅」です。12月1日の発刊をお楽しみに!

今月の名鉄グループ提供番組

※番組内容が変更となる場合がございます。

Finder TRIP

〔東海テレビ〕
金曜22:52より放送

1日・8日・15日・22日・29日
宮古島編



〔中京テレビ〕
毎週月～金 あさ5:50より放送

地元の採れたて情報をお届け



〔CBCテレビ〕
日曜12:54より放送

3日・10日・17日・24日



〔ぎふチャン〕
水曜21:56より放送

6日・20日 中津川市
13日・27日 岐阜市

〈プライバシーポリシーについて〉お客さまの個人情報は、プレゼントの発送及び、個人を特定できない統計データ作成にのみ利用いたします。
また、ご応募いただいた個人情報を第三者へ提供することはありません。
※掲載内容は変更または中止になる場合があります。詳しくは各店舗・施設へお問合せください。最新の情報は公式サイトなどでご確認の上、
おでかけください(すべて2024年10月24日現在のものです)。掲載価格はすべて税込価格です。QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

メイジノオト
Meiji-Note

乗物編

「メイジノオト・ミニ」は、
皆さまのココロや暮らしを
ちょっとだけ豊かにする、
「明治村」に関わる情報をお
届けするコーナーです。

第32回 車両番号の秘密

今年は「蒸気機関車12号」がイギリスより輸入されて150周年、明治村で
動態展示が始まってから50周年を迎えます。この車両につけられた「12
号」は、最後に使用されていた名鉄尾西線の前身である、尾西鉄道でつけ
られていた車両番号です。車両番号は所属会社が変わる際に「〇〇鉄道
の〇号機」という形で名前をつけ直されることが多く、明治村の「12号」
も、輸入当初は車両番号「23」がつけられていました。12月15日までの期
間、蒸気機関車12号は車両番号「23」に変身! 体験乗車をして、23号と呼
ばれた当時に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。



明治をみつめる。
①をみつける。

メイジノオト
Meiji-Note

